



森と暮らすまちづくりを考える



日時：2018年3月11日（日） 午後1時30分～4時30分

場所：東京都生協連会館3階ホール

中野区中央5-41-18 JR中野駅南口より徒歩5分

東京のまちなかで木を育て、緑を増やす活動にとりくんでいる人たちの活動から、東京にあらたな森をつくる事例を紹介し、その喜び、意義、課題について交流します。

東京の未来はわたしたちの手で切り拓こう。

東京に木を植えている人、植えたい人集まろう！

内 容

1) はじめに 企画趣旨

2) 実践・事例報告と交流

コーディネーター 高橋 佳夫氏 (NPO法人森びとプロジェクト委員会 副理事長)
先達による「環境を守る森づくり」88年の歴史と成果

矢ヶ崎朋樹氏 (IGES国際生態学センター 主任研究員/津田塾大学非常勤講師)
みちびき花の辻商店会のとりくみ/「緑の環境デザイン賞」で国土交通大臣省受賞

辻村勇氏 (みちびき花の辻商店街振興会代表理事) ふぐ・すっぽん「浅草観音裏 つじむら」
世田谷区・二子玉川公園で「いのちの森づくり」にとりくむボランティアの楽しみ、喜び
関橋 知己氏 (二子玉川公園ビジターセンター・みどりグループサポーター)

国立市「花と緑のまちづくり」のとりくみ ～ 地域コミュニティとともに育てる
「みどり香る路地庭」づくりの実践現場より

伊藤秀一氏 (くにたち花と緑のまちづくり協議会副会長/中原修氏 (国立市
北二丁目みどり会会長) /国立市生活環境部環境政策課花と緑と水の係 職員

3) 交流・意見交換 東京でもこんな努力、とりくみで実現できる木、林、森づくり
参加費/無料

申込/「東京に、どんぐりから木を育てて森をつくろう」実行委員会へ **申込はウラへ**

主催:東京に、どんぐりから木を育てて森をつくろう! 実行委員会

共催:IGES-JISE地球環境戦略研究機関 国際生態学センター

協賛:NPO森びとプロジェクト委員会/NPOエコメッセ/東京高齢協

この事業はCO・OP共済 地域ささえあい助成の協賛を受けています



昨年7月15日の「東京に、どんぐりから木を育てて森をつくろう」シンポジウムより

木を育てて森を作



世田谷区長 保坂展人さんからのご挨拶

世田谷区は区政100周年（2032年）までにみどり率33%をめざしあらゆる努力します。4年前に宮脇昭先生のもと、いのちの森づくりを二子玉川で行いました。現在、ボランティアの努力で木は5mにも育っています。今後も、区民やみどりを愛する団体の皆様方、お一人おひとりの力をお借りし、世田谷区にみどりを増やし、防災にも強い街づくりを進めてまいります。

岸井成格さん（ジャーナリスト、NPO森びとプロジェクト委員会 理事長）メッセージ

「東京に、どんぐりから育てて、木を植える」というとりくみに全面的に賛意を表します。

人類はいま、歴史の岐路に立っています。地球温暖化は待ったなしです。私は環境省の名付け親で、環境問題に強い関心を持っています。今世紀末にも人類は滅亡の危機に直面するとローマ法王やイスラム教の指導者が憂い、運動を支持し、パリ協定結びました。

しかしトランプ大統領は「アメリカファースト」をかかげ、協定から離脱しました。日本もCO2削減の目標を低く設定し、京都議定書を提起した国として、諸外国から「本気ですか？」と疑問を持たれています。

地球温暖化を考える時森づくりが最も大切な対策です。森が災害の防波堤となります。東京は直下型地震が想定されます。東京に森を作るとは本当に大事です。

植樹の時の子どもたちの目の輝きはすごい。東京に木を植えるとりくみは必ず成功するし、そうあってほしいと思います。

よびかけ人

鈴木邦雄氏（IGES国際生態学センター・センター長 前横浜国大学長）
室崎盛輝氏（兵庫県立大学特任教授 元日本火災学会会長）
宮本憲一氏（大阪市立大学名誉教授、元滋賀大学学長）
日野秀逸氏（東北大学名誉教授、元経済学部長、医師）
吉原毅氏（城南信用金庫 顧問）
日置道隆氏（輪王寺住職、いのちを守る森の防潮堤推進東北協議会会長）



申 込 書

申込み ファックスで以下までお送り下さい。
申込先 東京西部保健生協 吉岡 Fax 03-3381-1405
森びとプロジェクト委員会 Fax 03-5692-4900
問い合わせ 080-2394-8748（吉岡） / yoshioka3563@gmail.com

| | |
|-----------|------|
| 氏名 (ふりがな) | |
| 住 所 | |
| 電 話 | (携帯) |
| Eメール | |